



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
6月22日
発行

第94回

「日本株は売られ過ぎ」

～景気敏感株に注目～

初めに

先週末の米国株は大幅安、それを受けた昨日の日本株も下落しています。しかし自分はこの日本株の下落は米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果に対する過剰反応であり今後日本株は上昇に転じると見ています。今回はそう考える理由を説明します。

早期利上げの主張が増加した米連邦公開市場委員会

日米の株価下落の理由は先週行われたFOMCで早期利上げを主張する声が増加したことです。利上げはまだ先と考えていた市場参加者はこのFRBの発表を受けパニック気味に株式を売却したと思われます。これが今回の日米株下落の背景です。

FRBの利上げは良い利上げ

しかし考えてみてください。もし景気が悪いのに利上げをするのであればそれは悪い利上げとして株価が下落しても仕方ありません。しかし現在米景気は新型コロナの影響から立ち直り好調を維持しています。一方インフレ率は上昇傾向です。この様に考えて今回FRBで利上げ前倒しの声が高まったのは当然のことと見ています。

日本の景気も回復を見込む

米国には遅れていますが日本の景気も改善しつつあるようです。昨日の日本経済新聞は一面で2021年度の設備投資が2年ぶりに増加、前年度比10.8%増える見通しと報じました。回復が遅れていた旅行・外食産業などもワクチン接種が進めば持ち直すと見ています。星野リゾートは来年春に過去最大の700人採用を予定しています。

日本株の下落は投資家のパニック売り

FOMCを受けて株価が下落したのはこれが金利の上昇を招き株価のバリュエーションが低下することを懸念したからです。バリュエーションが高い株が多い米国ならばそういった懸念も分かりますが元々バリュエーションが低い日本株にとってはこれは株式を売却する理由にはならないでしょう。昨日の日本株の下落は一時的にパニックに陥った投資家の売りが原因と思う所以です。

景気敏感株に注目

投資戦略にも触れておきます。今後アメリカに遅れて日本でも景気の改善を見えています。従って景気敏感株に注目ということになりますが特にコロナの打撃が大きかった外食・旅行・レジャー関連などに注目していることは以前からお話ししておりです。また日本は別かもしれませんが世界的にはインフレ圧力が高まりつつあるので資源株などインフレでメリットを受ける企業への投資も有望との見方です。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。